

消火器

長い間、ありがとう。
ずっとずっとと忘れないよ。

特集

トピックス

健康
おわたわら塾

子育て

健康・福祉

くらし

年金・国保

教養・文化

教育

スポーツ

税

産業

イベント

地域の
ひろば

特集
special feature article

～ 黒羽・川西地区小学校 統廃合

— 閉校、統合、そして —

黒羽・川西地区小学校統廃合

愛され続けた学校の閉校、そして統合。
そこに直面した生徒たちの気持ちを聞きました。

平成25年3月、黒羽地区の小学校の統廃合が実施されました。歴史と伝統に包まれた各小学校は、児童や地域の人々に惜しまれながらも閉校となりました。黒羽小学校と片田小学校が統合して新しい黒羽小学校に。川西小学校と蜂巣小学校、寒井小学校が統合して新しい川西小学校となって、新たなスタートを切りました。今回、閉校となった片田小学校、蜂巣小学校、寒井小学校からは、最後の卒業生。同じく閉校となった旧黒羽小学校と旧川西小学校からは、新しい黒羽小学校と川西小学校の6年生から話を聞きました。



片田小学校出身

黒羽中学校1年4組
吉成 美樹 さん

地域から愛される夕日が丘が自慢の学校



片田小学校は自然にあふれていて、地元からとても愛されている学校です。

私は片田小学校が無くなってしまってとても寂しいですが、そんな、たくさんの人から愛されている大好きな片田小学校で卒業ができて、とてもよかったと思っています。

片田小学校には、「夕日が丘」という丘があります。私はそこから見るととてもきれいな夕日が大好きで、みんなで一緒に夕日を見たり、時には一人で見に行ったりしていました。夕日が丘で友達と楽しく遊んだ思い出は今でも強く鮮明に残っていて、私にとって特別な思い出の場所です。

夕日が丘は地元の方からもとても愛されていて、地域の人たちと片田小学校の児童が協力して作詞・作曲をし、「夕日が丘音頭」を作ってしまうくらいです。夕日が丘、そして片田小学校はみんなが大好きでした。

私は、片田小学校を卒業することは、もちろん寂しかったです。でも、それよりも片田小学校で最後の卒業生ということの方が寂しくて、卒業式の日には泣いてしまいました。きっと、ただ卒業するだけでは泣かなかったと思います。

これからも片田小学校に会いに行ったり、友達を連れて遊びに行ったりして、そのたびに「ありがとう。」と声をかけてあげたいと思います。



蜂巣小学校出身 黒羽中学校1年4組 松本 悠加さん

木のぬくもりに包まれてた蜂巣小学校

蜂巣小学校は私にとって歴史の教科書みたいです。蜂巣小学校の廊下には、写真が撮れるようになった時代から今までの、全校生徒の写真が貼ってあり、いつ見ても感動で言葉になりません。

また、蜂巣小学校は、そんな昔からある古い校舎を使っているため痛んでいて、冬は隙間風とかが入ってきて少し寒いです。それでも木のぬくもりがあって、なんとなく暖かい。そんな昔ながらの素敵な校舎の学校です。

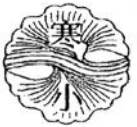
蜂巣小学校の自慢は全校児童がとても仲良しで、1年生から6年生まで、全員が一輪車に乗ることができます。上級生が下級生に根気強く教

えます。

もちろん、先生との仲も最高で、練習で一度も成功しなかった一輪車の大技が本番の運動会で成功した時は、先生たちも感動のあまり泣いてしまい、私たちと一緒に喜んでくれました。

しかし、私たちは、そんな大好きな蜂巣小学校に、高校受験の合格など、これから起こるたくさんの嬉しい出来事を報告するために、蜂巣小学校に戻ることができません。

そんな悲しい気持ちはありますが、私は、私を含めとても長い間、多くの児童を見守ってきた、この温かい蜂巣小学校に「ありがとう。」と感謝の気持ちを伝えたいです。



寒井小学校出身 黒羽中学校1年1組 田代 涼一さん

寒井小学校を卒業できたことが誇りです

僕は寒井小学校を卒業する時、もう少しで閉校してしまうことを想い、寂しく思いましたが、138年間続いた寒井小学校の最後の卒業生であったことを誇りに思っています。

寒井小学校はとても明るく、全学年が楽しんで生活していた学校です。1年生から6年生までいる清掃班で、毎週昼休みに遊ぶのがとても楽しみでした。また、「あいさつが日本一できる学校にしよう。」という目標をたてて、あいさつを頑張っていたので、地域の方や、学校の先生に元気にあいさつして、いつも明るい空気のある学校でした。

寒井小学校は、いままでたくさんの思い出、友達を作ってくれたり、

勉強やいろいろなことを教えてくれたりしました。なので、僕は寒井小学校に、お母さんのような温かさを感じながら生活していました。

そんな大切な寒井小学校が閉校になってしまうと聞いて、僕はとても悲しくなりました。そのため、勉強や運動もがんばりましたが、それからは、寒井小学校を今までよりきれいな状態で終わらせてあげたいと思い、特に清掃活動を頑張りました。

もし、もう一度寒井小学校に戻って生活できるのなら、学校に敬意をもって生活をしたいです。138年間、在学した児童みんなに勉強を教えてください、ありがとう。



特集

トピックス

健康
おたわら塾

子育て

健康・福祉

暮らし

年金・国保

教養・文化

教育

スポーツ

税

産業

イベント

地域の
ひろばの

黒羽・川西地区小学校紹介

歴史に幕を閉じた小学校

《黒羽小学校》

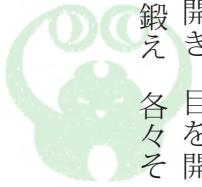
- 創立 明治7年7月23日、大関私学作新館として前田の地に開校
- 校訓 「学ぶに如かず」 学校で学び 家庭で学び 地域で学ぶ
- 総卒業生 4972人

《片田小学校》

- 創立 明治7年10月、北滝、片田、亀久、矢倉の4村で、片田の金秀寺を仮校舎に、万年舎と称し開校
- 校訓 正しく つよく ほがらかに
- 総卒業生 1892人

《川西小学校》

- 創立 明治7年5月に常念寺本堂を仮校舎に、開達校と称し開校
- 校訓 「開達の心」心を開き 目を開き 知徳を磨き 心身を鍛え 各々その志を尊重する
- 総卒業生 6850人



旧・黒羽小学校出身 黒羽小学校6年 面川 結衣さん

新しい友達ができた。統合してよかった。

黒羽小学校と片田小学校の統合の話聞いた時、実はあまり統合したくありませんでした。できれば、このまま今までどおりに生活していたかったと思っていました。

しかし、最初は嫌だった統合も、片田小学校のみんなと一緒に授業をしたり遊んだりして交流しているうちに、「統合するのもいいな。」と思えてきました。

今ではみんながすごく仲良しで、統合前に考えていたのよりも、ずっとずっと仲良しになることができたので、統合してよかったと思っています。

そして、黒羽小学校と片田小学校の児童が、お互いに自分たちの学校の素晴らしいところや校訓などを教

え合って、分かり合って、お互いに高め合っていたらと思っています。

長い歴史が始まる黒羽小学校の最初の最上級生として、これからもずっと黒羽小学校をいい学校にしていきたいので、後輩にあいさつや学校のルール、掃除の方法などをたくさん教えていきたいです。そのことに対して、プレッシャーを感じていますが、今はそれ以上にとても楽しみです。

それと、せっかく新しい仲間ができたのに、私たち6年生に残された黒羽小学校での生活は短いので、もうすでに十分くらい仲は良いけれど、もっとたくさん話をして、今まで以上に仲良くなりたいです。



【川西小学校】

- 在校児童数 229人
- 校訓 「輝く命 進取の心」



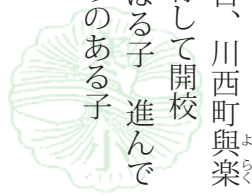
【黒羽小学校】

- 在校児童数 180人
- 校訓 「学ぶに如かず」学校で学び 家庭で学び 地域で学ぶ



《寒井小学校》

- 創立 明治7年5月10日、川西町與楽寺を仮校舎に誠明舎と称して開校
- 教育目標 元気でがんばる子 進んで学ぶ子 明るく思いやりのある子
- 総卒業生 1650人



《蜂巢小学校》

- 創立 明治8年9月開達学校の分校として創立し、蔵針舎と称し開校
- 教育目標 はつらつとして明るい子 ちからいっぱいがんばる子 すなおで思いやりのある子
- 総卒業生 2080人



新しく統合した小学校

①黒羽小学校／②片田小学校／③川西小学校／④蜂巢小学校／⑤寒井小学校



旧・川西小学校出身 川西小学校6年2組 副島 湧介さん

新しい川西小学校、なにごともスタートが重要



川西小学校は、蜂巢小学校と寒井小学校の3校と統合するため、いったん閉校となりました。寂しかったけれど、ほかの学校の友達が来ることがとても楽しみでした。

ほかの学校と部活動を秋ぐらいからやっていて、いろいろな話を聞いていたので、仲間が増えることが未知の世界というような感じではなかったし、それよりも、その仲間が川西小学校に来ることを待ち望んでいた、「やっと一緒になれた!」というような気持ちでした。

でも、まだまだほかの地域は行ったことが少なく、分からないことばかりです。なので、児童全員で蜂巢や寒井、そして川西の地域を歩いて散策し、その地域の特色をたくさん

見つけたいと思っています。

統合した新しい川西小学校は、元気なあいさつのできる学校です。1年生があいさつできない時などは教えてあげます。今年が川西小学校最初のスタートなので、自分たちが積み上げていったものが後々まで受け継がれていくことと思います。僕たちがいろいろなことを下級生に教えてあげれば、その子が上級生になったときに下級生に教えてあげることができるようになると思います。

スタートがしっかりしていると、この後もすごく良くなると思うので、何十年、何百年も自分が教えたことが、ずっと受け継がれていかれるように頑張りたいです。